

2018年度触媒学会西日本支部 第9回触媒科学研究発表会

主催 一般社団法人触媒学会・西日本支部

日時 2018年6月8日(金) 13:00~18:00 (懇親会 18:30~20:00)

会場 名古屋大学ベンチャービジネスラボラトリー 3F ベンチャーホール

〒464-8603 名古屋市千種区不老町 B2-4 URL : <http://www.vbl.nagoya-u.ac.jp/>

(名古屋市営地下鉄「名古屋大学」下車, 3番出口でキャンパス直結、大学構内徒歩5分)

プログラム

13:00-13:05 支部長挨拶

13:05-13:40 「超分子鑄型法を駆使した多孔質アルミナ粉体に関する合成研究」

産業技術総合研究所中部センター 木村 辰雄 先生

13:40-14:15 「メタンを活性化するゼオライト担持遷移金属触媒」

鳥取大学大学院工学研究科 片田 直伸 先生

14:15-14:50 「TiO₂における格子歪効果と光触媒活性」

九州大学大学院工学研究院 石原 達己 先生

15:00-16:30 ショートトーク (学生ポスター発表の内容を英語で2分半で紹介)

17:00-18:00 ポスターセッション

18:30-20:00 懇親会

参加費 学生：無料, 触媒学会および協賛学会会員 (法人会員も含む) : 1,000 円, 非会員 : 5,000 円

(当日受付にて頂戴いたします)

懇親会費 一般 : 2,000 円, 学生 : 1,000 円 (当日受付にて頂戴いたします)

参加申込締切 5月18日(金)

参加申込方法 「触媒科学研究発表会参加申込」と題し, ①から⑦の項目を明記の上, 下記連絡先まで E-mailにてお申し込みください。学生以外の一般参加の方は⑥⑦以外の項目を明記の上お申し込みください。①氏名、②所属、③連絡先(住所/電話番号/E-mail)、④参加区分(学生/会員/非会員)、⑤懇親会参加の有無、⑥ポスター発表題目(英語)、⑦研究者氏名・所属(連名の場合は発表者に○)。

連絡先 名古屋大学大学院工学研究科応用物質化学専攻・薩摩 篤

E-mail : satsuma@apchem.nagoya-u.ac.jp TEL : 052-789-4608

【御礼】 おかげさまで、参加 84 名(学生 58, 会員 26 名)、ポスター発表 32 件の盛大な会となりましたことを御礼申し上げます。

【優秀ポスター賞】 河口 悠さん(大阪市立大学)、治田 裕貴さん(大阪大学)、二村 友也さん(大阪大学)、大西 謙也さん(京都大学)、大久保 慶一さん(名古屋大学)、村田 和優さん(名古屋大学)(西から順)の次の講演が優秀ポスター賞に輝きました。受賞者の皆さん、おめでとうございます。

Preparation of Ga₂O₃ photocatalysts and their effects of crystalline structures on the CO₂ reduction activity

(大阪市大工¹・大阪市大複合先端研²・堺化学工業³) ○河口悠¹・山本宗昭²・吉岡ころろ¹・赤柄誠人¹・小澤晃代^{1,3}・加藤由真¹・田辺哲朗²・吉田朋子²

Improvement of PM combustion activity by the shape control of CoO_x/CeO₂

(大阪大工¹・京大 ESICB²・JST³) ○治田裕貴¹・森浩亮^{1,2,3}・桑原泰隆^{1,2}・山下弘巳^{1,2}

Selective synthesis of deuterium gases from formic acid using amine-functionalized mesoporous silica supported PdAg nanoparticles

(大阪大工¹・京大 ESICB²・JST³) ○二村友也¹・森浩亮^{1,2,3}・山下弘巳^{1,2}

Three-way catalytic reaction using Fe-Nb-based mixed oxide

(京都大工¹・京大 ESICB²)○大西謙也¹・細川三郎^{1,2}・朝倉博行^{1,2}・寺村謙太郎^{1,2}・田中庸裕^{1,2}

Bifunctional effect of Ru-modified Pt catalyst for hydrogen oxidation reaction under alkaline conditions

(名古屋大工¹・京大 ESICB²)○大久保慶一¹・大山順也^{1,2}・薩摩篤^{1,2}

Particle size and metal-support interaction induced surface structure variation of Pd/Al₂O₃ for methane combustion activity

(名古屋大工¹・京大 ESICB²・名古屋大 IMass³)○村田和優¹・馬原優治¹・大山順也^{1,2}・山本悠太³・荒井重勇³・薩摩篤^{1,2}